

授業科目名	<b>国際保健・看護Ⅰ</b>			担当教員	小川 里美、宇都宮 真由子
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	講義・演習	使用教室	
授業の目的	日本を含む世界各国における保健衛生の現状や課題、関連する要因について基礎的な理解を深め、人々の健康増進に關与する国際保健・看護の特性について学ぶ。				
到達目標	1. グローバル化の進展に伴う多様化・複雑化する世界の健康問題の現状、我が国における在日外国人の保健医療の課題、保健医療の国際協力、国際看護に必要な基礎知識を獲得できる。 2. 国際看護における具体的な状況判断が必要な事例の検討を通して国際看護の実践計画を立案し発表できる。				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	国際保健概論 国際保健医療、グローバルヘルスの概念、ミレニアム開発目標、持続可能な開発目標	講義	(復習) 関心を持つ国際保健医療問題について調べる	1時間	小川 宇都宮
2	グローバルヘルスの課題Ⅰ	講義	(復習) 関心のある開発途上国の健康指標について調べる	1時間	小川 宇都宮
3	グローバルヘルスの課題Ⅱ	講義	(復習) 関心のある健康課題について調べる	1時間	小川 宇都宮
4	在日外国人の保健医療 異文化理解とケア	講義	(復習) 日本人出国者と外国人入国者の推移について調べる	1時間	小川 宇都宮
5	国際看護概論の概念と理論	講義	(復習) 異文化看護に関する論文を読む	1時間	小川 宇都宮
6	紛争と看護	講義	(復習) 紛争と看護との関連を調べる	1時間	小川 宇都宮
7	難民と看護	講義	(復習) 難民と看護との関連を調べる	1時間	小川 宇都宮
8	開発と看護	講義	(復習) 開発と看護との関連を調べる	1時間	小川 宇都宮
9	看護の将来的展望	講義	(復習) 国際看護師協会の組織、取り組みについて調べる	1時間	小川 宇都宮
10	事例検討① 事例における看護に関する問題およびその要因を調べ、改善に向けた活動計画の立案	演習	(復習) 提示した事例を理解するために必要な事項について調べる	1時間	小川 宇都宮
11	事例検討②	演習	(予習) 事例における看護に関する問題およびその要因を調べる	1時間	小川 宇都宮
12	事例検討③	演習	(予習) 事例における看護の問題に対して、改善に向けた活動計画の立案し、発表の準備を行う	1時間	小川 宇都宮

13	事例検討発表、フィードバック、まとめ	演習	(復習) 今まで講義、演習、発表会での学びを文献活用して深め、国際看護についての考えをまとめる	3時間	小川 宇都宮
14					
15					
先行履修科目					
テキスト	特に指定しない				
参考文献	<p>国際保健医療学会 編：国際保健医療学第3版. 杏林書院, 2013.          人間の安全保障委員会：安全保障の今日的課題 - 人間の安全保障委員会報告書. 朝日新聞社, 2003.          浦田 喜久子/小原 真理子 編：災害看護学・国際看護学 3版. 医学書院, 2015.          中村安秀, 河森正人 編：グローバル人間学の世界. 大阪大学出版会, 2011.          Basch, P. : Text of International Health. 1999, 梅内拓生 (監修) その他：バッシュ国際保健学講座, 2001.          Leininger M. : Transcultural Nursing. Masson international nursing publications, 1979.          G. ホフステード：多文化世界. 有斐閣, 1995.          Skolnik R : Essentials of Global Health. Jones &amp; Bartlett Pub, 2008.</p>				
メッセージ	<p>本科目では、前半で、グローバル化の進展に伴う多様化・複雑化する世界の健康問題の現状、我が国における在日外国人の保健医療の課題、保健医療の国際協力、国際看護に必要な基礎知識を学びます。後半で、具体的な状況判断が必要な事例の検討を通して、国際看護を実践的に深く学びます。国際看護とは何か、自ら考え、他者に伝えられる機会を提供します。</p>				
科目の位置づけ	<p>本科目は、〈看護の専門科目〉群に位置付けられています。前半は国際看護に必要な知識を獲得するための講義を行い、後半は、各グループで事例における看護に関する問題およびその要因を調べ、改善に向けた活動計画の立案し、その計画を発表する。これらの学習は、国内外の幅広い領域で、看護を主体的かつ創造的に実践し、人々の健康及び福祉の向上に貢献する看護師に必要な基本的能力、特に〈人間の尊厳と権利を擁護する力〉、〈チームで働く力〉を養う。</p>				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○		◎		
評価方法	授業への参加度 (10%) プレゼンテーション (70%) レポート (20%)				